

かかりつけ薬局の 知っ得情報

④



『妊婦・授乳婦と薬』

妊娠に気づいたとき誰もが元気な赤ちゃんの誕生を願うことでしょう。妊娠中、授乳中の禁酒、禁煙は強く推奨されています。では薬の服用についてはどうでしょう？

すべての妊婦さんにとって、自分たちが飲む薬がおなかの中の赤ちゃんに安全なのかは、とても気になることだと思います。

まず、薬の服用に関係なく出生時の先天異常は約3%程度あると考えられています。そして、妊娠中の薬の服用はごく一部の薬を除いてあまり神経質になる必要はありません。でも、100%安全ですと言える薬はないので慎重になつた方が良いでしょう。特におなかの赤ちゃんが薬に敏感な時期は注意しましょう。

一方で、お母さんの健康

を守るために妊娠中でも薬を服用したほうがいい場合もあります。薬の服用が必要な妊婦の中には、『私さえ我慢すれば、赤ちゃんは薬のリスクから解放される』との誤った認識を持つ場合もあります。

妊娠中に薬を飲むのは心配かもしれませんが、必要な薬もあるので主治医の説明をよく聞き、自己判断で服用を止めないようにはしましょう。市販薬の場合も購入する前に必ず薬剤師に相談するようにしてください。正しい知識でおなかの赤ちゃんを守つてあげたいですね。

お母さんにとっては授乳中の薬も気になるところだと思います。

母乳育児には多くのポイントがあることが知られていて、赤ちゃんを母乳で育てることを望まれるお

母さんはたくさんいらつしやいます。多くの薬は母乳の中に移行します。でも移行する量は非常に少ないことがわかつていて、赤ちゃんに影響する可能性は低いのです。薬を飲んでいるお母さんは必ずしも母乳育児をあきらめることはありません。母乳をあげながら服用できる薬も多いのです。個々のお薬については、主治医や薬剤師に相談してください。

また、健康な赤ちゃんとお母さんのために妊娠中から葉酸の摂取が厚労省からも勧められています。ぜひ薬局にご相談ください。

担当薬剤師 高橋円香

あなたに今、私ができること
P ファークロス



ファークロス薬局いの木
松戸市常盤平1-11-9
☎047-394-5255

お問い合わせ ☎047・360・3600 一般社団法人松戸市薬剤師会